



京葉銀行のコミュニケーションシンボル

「A」の交点の立体的な重なりと上方へ鋭く伸びてゆくラインは、
人と人の交わりと、そこを出発点に無限に伸びてゆく未来をあらわしています。
コミュニケーションネームの「アルファバンク」は、
“人との交わりを大切に、無限の未来を切り開いてゆきたい”
“常に皆様にプラスアルファを提供し続ける銀行になりたい”
そんな京葉銀行の思いをあらわしています。



ごあいさつ

いつも「アルファバンク」京葉銀行をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

本年も、私どもに対する皆様のご理解を一層深めていただけるようディスクロージャー誌「2006京葉銀行レポート」を作成いたしました。当行の経営方針や業務内容、地域社会とのふれあい、新しいサービス・商品などをできるだけ分かりやすくご説明させていただくことを心がけました。ご参考にしていただければ幸いに存じます。

平成17年度の経済金融情勢は、好調な企業業績を受け、設備投資が増加するとともに、雇用環境や個人所得が改善され、個人消費の増加へと繋がる好循環が見られました。3月には日経平均株価が1万7千円を超えるなど株式市場も活況を呈し、景気回復がより鮮明になったことで、日本銀行はこれまでの量的緩和政策を解除しました。

このような環境の中、当行では平成17年度からの2年間を新たなステージへと飛躍する非常に重要な期間と位置付け、第12次中期経営計画「 α New STAGE 2007～新たな価値創造への挑戦～」を推進中です。本計画を達成することにより、経営課題である「収益力の強化」、「企業再生と地域社会の活性化」、「経営管理力の強化」、「お客様、株主、地域社会からの厚い信頼の獲得と従業員満足度の向上」を実現します。

これからも、地域のお客様や市場からの揺るぎない信頼を得られますよう、役職員一同、全力をあげて努力してまいりますので、より一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

取締役頭取 綿貫 弘一